

S.P.Vつうしん

第61号 2019年（令和元年）8月 発刊

〒963-8002 郡山駅前2-11-1 郡山ふれあい科学館内 TEL 024-963-0201



橘小学校「郡山市街地学習会」in ビッグアイ

案内
グループ

案内グループは橘小学校3年生の郡山市街地の学習会に参加、科学館22階展望ロビーより説明を行いました。

小学生が展望ロビーから郡山市の街並みを眺めながら地域学習をしている様子はよく見る光景です。案内グループはそのお手伝いをしたく、活動計画を練っておりましたが、これまで各小学校が各自の方法で行っていたので、いままで実行する機会に恵まれてきておりませんでした。

今回、橘小学校より思いがけない要請があり、はじめての実施となりました。生徒が約60名と大勢のため、3グループに分け、案内のメンバー3名が北方面・南東方面・南西方面に分かれ、生徒に移動してもらいながら各自の担当方面を説明しました。

生徒たちは熱心に説明を聞いて記録を取っていました。他の小学校を見つけると「あそこだ、あそこだ！」と声を張り上げ、橘小学校付近になると逆に説明をいただきました。質問には「科学館の出来た目的は？」など立派なものもありました。オリエンテーションや質問を含め、たっぷり1時間の会となりました。

今後、同様の要望にすぐ対応できるよう、グループとしても準備していく予定です。

(案内グループ 久野 功)



二瀬公民館 夏まつり出張

科学
グループ

7月27日に二瀬公民館の夏祭りへ出張活動を行いました。昨年に続き、二回目の参加です。UVちょうちょと風船ロケットの2種類の科学工作を行いました。

特に人気の風船ロケットは、長い風船を半分に切り、空気入れで膨らませますが、なかなかうまく膨らみません。膨らんだ後は口を縛るのに一苦労です。ボランティアや周りの大人の人に手伝ってもらって子供が続出でした。風船に羽を貼り付けたら完成。子どもたちは大喜びでロケットを飛ばし、色とりどりの風船が部屋いっぱい飛びかいました。

楽しい遊びの後は、子どもたちと一緒に流しそうめんをいただき涼しさを味わってきました。

(科学グループ 大越 幸子)



今号から紙面が新しくなりました!

これまでの厚紙上質紙のA4両面から薄紙のA4両面になり、地球に優しいシンプル&クリーンなS.P.Vつうしんとなりました。全て手作業ゆえ至らぬ部分もあるかと思いますが、ご縁のあった皆様、S.P.Vウォッチャーの皆様、メンバーの皆様、更なる応援を宜しくお願いいたします!

(リニューアル担当：科学グループTK)



湖畔清掃奉仕活動 in 猪苗代湖

合同
イベント

猪苗代湖畔清掃会に4月と6月の計2回、参加しました。以下、参加者のレポートです。

4月13日 猪苗代湖クリーンアクション2019 (天神浜)

猪苗代湖は郡山市民の命の水源地。水環境保全活動の一環として、定期的に一斉清掃が行われています。

今年度の第1回目は、県内外から一般、高校生、企業団体ら総勢410人が参加。天神浜チームと白鳥浜チームに分かれ、青空の下で磐梯山を望みながら清掃活動を行いました。この季節はプラスチックごみを含む漂着物のほか、菱（ヒシ）の実が大量に漂着。菱の実集めは浄化に役立つだけでなく、菱の実はとても硬く、散歩時の危険にもなります。徹底的に清掃し、集めたゴミの量は約2.8トンとのことでした。

私は初めての参加ですが、色々と考えさせられることがありました。ごみ拾いの後はおいしい豚汁を頂き、一路サクラ満開の我が町郡山へ・・・

(科学グループ 関根 利栄)

6月1日 郡山市主催清掃活動 (湖南地区)

まず郡山市上下水道局に集合、小学生の絵画の表彰式の後、バス三台で湖南へ移動。ゴミ袋とゴミばさみを渡され、清掃活動を開始。市内は晴れで活動は暑いかと思いましたが、湖岸は涼しく快調に作業は進みました。砂浜のゴミはいつもより少ないとのことですが、林の中には昨今問題になっているプラスチックの袋の切れ端等があちこちにあり、また、キャンプの後に埋めたであろうアルミ缶もありました。終了後、サニールンド湖南でお弁当を頂いてから堀口浄水場を見学させていただきました。

(科学グループ 加茂 けい子)

S.P.Vは湖畔清掃会に
定期的に参加しています
お誘いいただいた関連団体、
行政担当に御礼申し上げます



産総研「福島再生可能エネルギー研究所」一般公開イベント 出張活動

科学
グループ

7月27日(日)に、産業総合研究所・福島再生可能エネルギー研究所が主催する一般公開イベントに参加し、科学工作を行いました。

場所は、新たにできた「無振動研究棟」。普段は研究・開発の実験に使うところで、天井が高く、周りが発泡スチロールで囲まれた異空間でした。本館から少し離れた場所にあります。広々としており、我々S.P.Vを含めて4グループが活動。外は酷暑のなか、涼しく活動できました。

メニューの分光万華鏡は、子どもたちにはもちろん、産総研の職員の方にも喜んでいただきました。

(科学グループ 加茂 けい子)



【S.P.Vとは】 Space-Park Volunteer group

郡山駅前・ビッグアイにある「郡山市ふれあい科学館(スペースパーク)」を拠点に活動する、一般市民たちによるボランティアの会です。案内・科学・天文の3グループに別れ、総勢85人が活動しています。

新会員は常時募集中です。ふれあい科学館 info@space-park.jp へお気軽にご連絡ください!

(編集後記)

☆はやぶさ2が二度目のリュウグウ着陸に成功、無事に帰ってくることを祈りましょう。お土産が楽しみです。(天文 鹿)
☆今年の夏は前半は雨、後半は酷暑で入館者が多く、工作の材料が足りなくなり、大慌て…でも、子ども達は喜んでくれてよかった。(科学 加)
☆猛暑から逃れ、裏磐梯へ行ってきました! 檜原湖を眺めながら心地よい風とセミのBGM(笑)を背にリフレッシュできました。(案内 原)